

「子どもを守るネットワーク」事業 子どもネットニュース



VOL. 150

特別インタビュー

子どもを守るネットワーク対策委員会 土岐雅人委員

(私鉄総連 立川バス労働組合 執行委員長)



子どもを守るネットワークの取り組みを、現場ではどのように推進しているのかインタビューを行いました。今回は子どもを守るネットワーク対策委員である立川バス労働組合の土岐執行委員長に、活動状況や今後の目標を伺いました。

■子どもを守るネットワークの取り組みの現状を教えてください。

今年からステッカーデザインが新しくなったことの周知はもちろん、新入社員への教育の一環として子どもネットの活動を伝えています。何かあった時では手遅れになりますので、早い段階で周知するように心がけています。

■この活動について会社側の反応はありますか？

子どもネット活動がスタートした当時から、この活動に対する理解と協力を得ることができています。また、新ステッカーの貼り替え作業にも非常に協力的に取り組んでいただきました。

■この活動に取り組まれてからの苦労はありましたか？

苦労は特にないが、子どもを保護するなどの事例がまだないため、実際に起こったときにしっかりと対応できるのかという不安はあります。

■今後、「子どもを守るネットワーク」の活動をどのように展開していきたいですか？一言お願い致します！

子どもネットの周知が企業や自治体までで止まっているのではないかと思います。一番大切なのは子どもたちが認識しているかどうかなので、しっかりと学校まで周知活動をしていく必要があると思います。ポスター・チラシはもちろん、**子どもネットニュース**を配ってみるのもいいのではないのでしょうか。



子どもの冬休み期間中（12/26～1/7）に子どもネットのバス中吊り広告を掲示していただいています。バスをご利用時はぜひご覧ください♪

【今回協力いただいたバス会社】
小田急バス・関東バス・立川バス・西東京バス



土岐執行委員長ご協力をありがとうございました！

「子どもを守るネットワーク」事務局

〒190-0012 立川市曙町2-15-20-5F 連合三多摩ブロック地協内